

京都大阪森林管理事務所の概要(大阪府)



平成21年8月27日
京都大阪森林管理事務所

目次

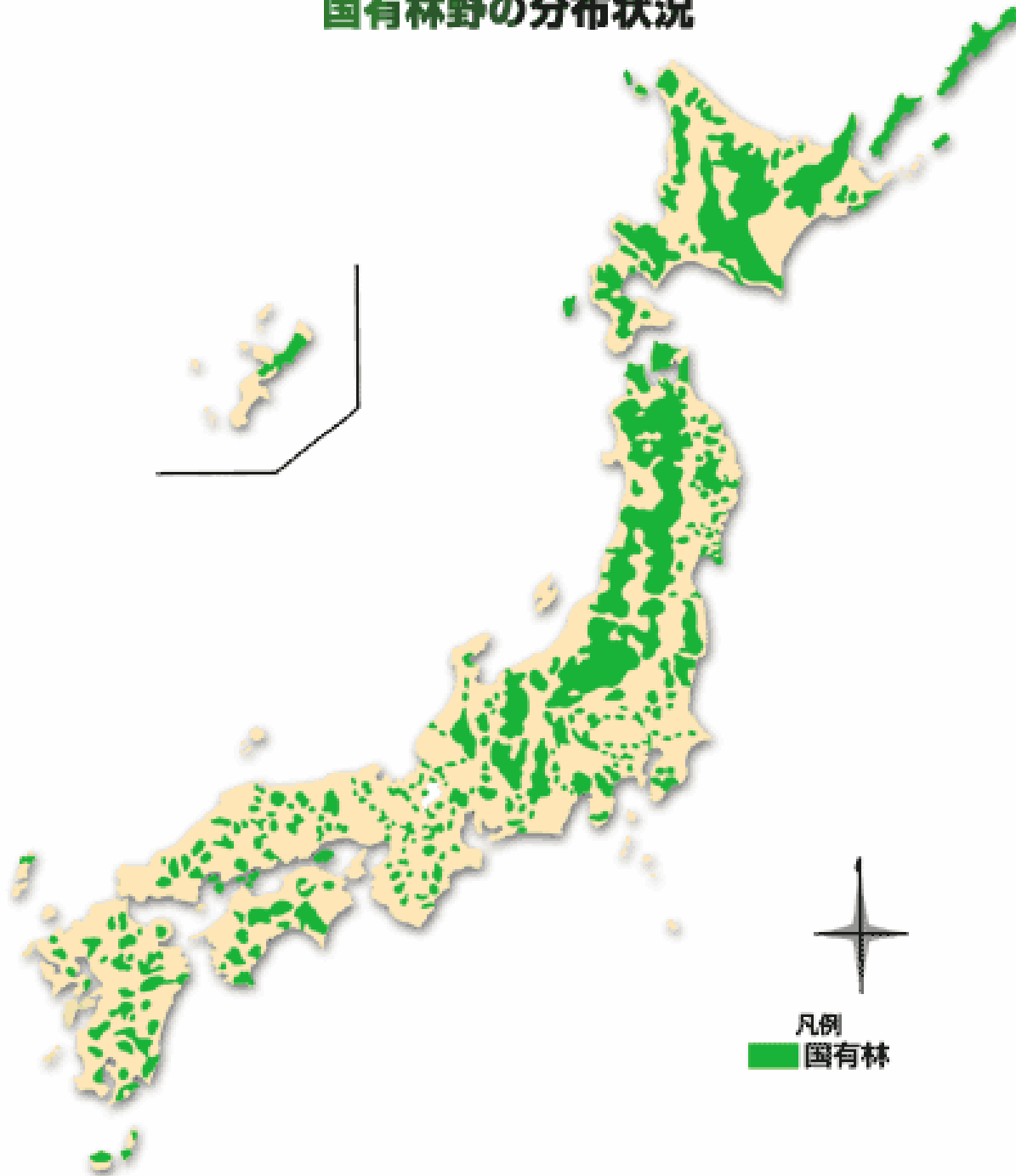
1. 国有林について
2. 京都大阪森林管理事務所について
3. 主な事業内容
4. 最近のトピック

1. 国有林について

- 日本の国土の約 2 / 3 が森林。
- 日本の森林の約 1 / 3 が「国有林」。
- 国有林は日本の国土の約 2 割。

	面積	割合
国土面積	3,700万 h a	100%
うち森林	2,500万 h a	67%
うち国有林	760万 h a	21%

国有林野の分布状況



土地面積に占める国有林率

地域	国有林割合
北海道	37%
東北	32%
北陸	15%
関東甲信越	10%
東海	10%
近畿	3%
中国	5%
四国	10%
九州・沖縄	13%

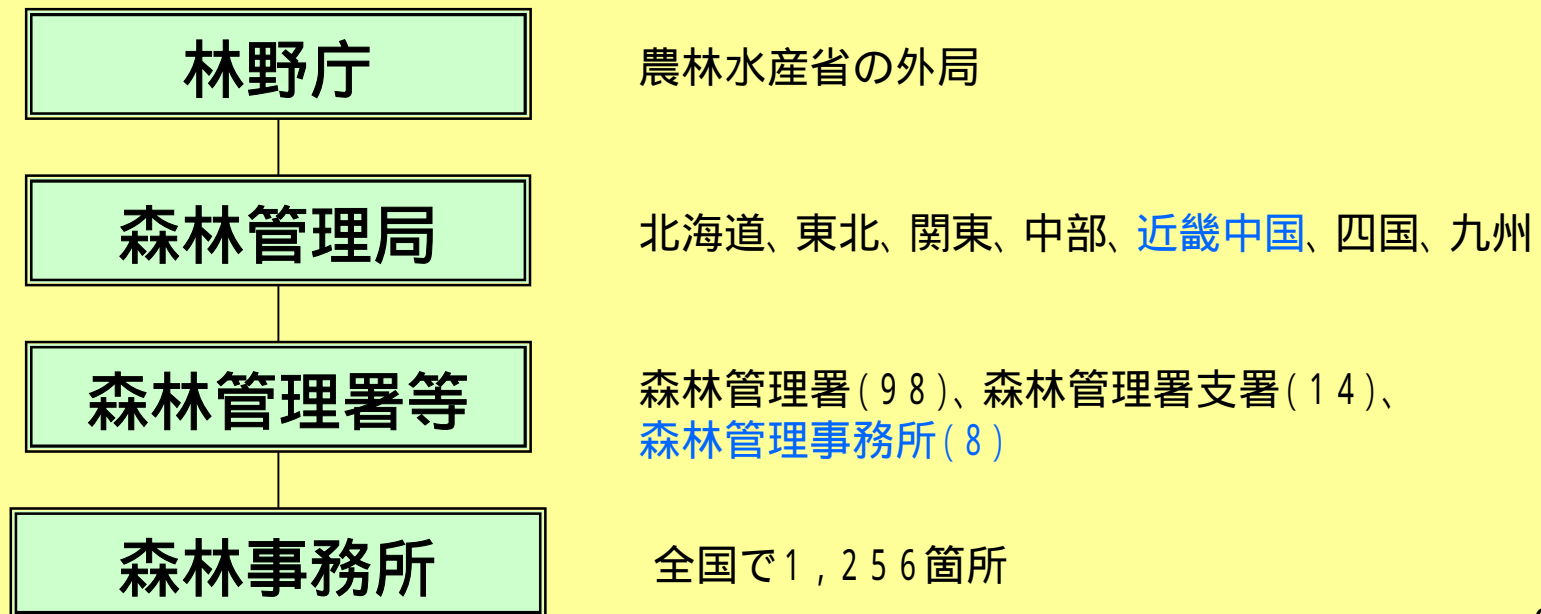
1. 国有林について

(国有林の成立)

- 国有林は、明治2年の**版籍奉還**によって、明治政府が**旧幕藩有林**を承継したことにより成立。
- 明治4年に「**社寺上地令**」により、**旧社寺領**を官有地に編入。
- 明治6年から14年にかけて、地租改正に伴って行われた**土地の官民有区分**により境界確定、**村持入会林**を国有林に編入。
- その他、購入、交換、所管替えなどにより編入。

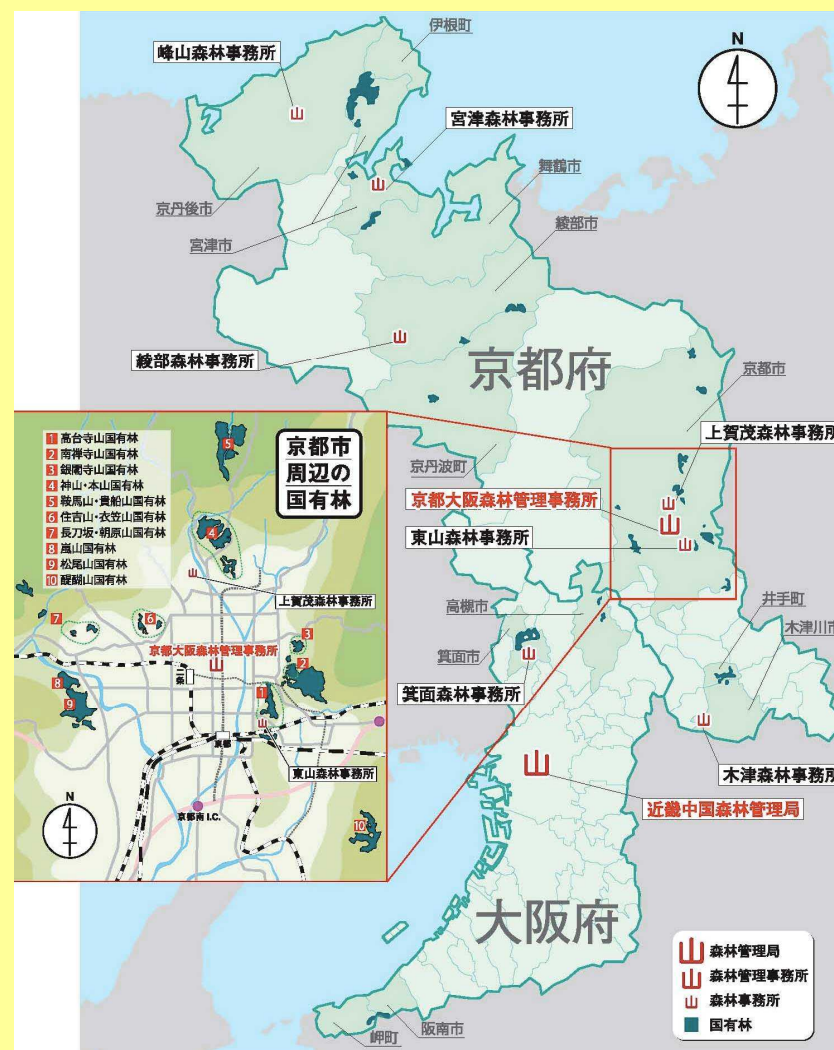
1. 国有林について

- 林野庁が国営企業(現業)として国有林を管理経営。
- 林野庁本庁の下に、地方ブロック組織として7箇所の森林管理局を設置。
- 森林管理署等が現場の管理経営を実施。



2. 京都大阪森林管理事務所について

- 近畿中国森林管理局の下部組織。
- 京都府・大阪府に所在する**国有林約5,700ha**及び**官行造林地約1,900ha**の管理経営を担当（森林面積に対する国有林の割合は、京都府で約1%、大阪府で約2%）。
- 管内の国有林は**小規模散在**。
- 京都市内では、**東山、貴船山、嵐山**などが国有林、大阪府内では、**箕面山**などが国有林。
- 森林事務所：7箇所（東山、上賀茂、綾部、宮津、峰山、木津、箕面）
- 職員数：21名



2. 京都大阪森林管理事務所について

- 大阪府内には、3市1町1村に、国有林野約1,040ha、官行造林地約90haが存在。
- 箕面市に所在する国有林野は、明治4年の社寺上知令によって、勝尾寺領及び瀧安寺領から官有地に編入された旧社寺林。
- 紀泉高原に所在する国有林野のほとんどは、昭和28年度以降、国有林野整備臨時措置法に基づいて、民有林を買い入れたもの。
- 官行造林地は、大正9年の公有林野官行造林法に基づき、公有林野等の所有者を相手方として、収益を分収する条件の下、国が造林を行う契約を結んだもの(昭和36年に法律廃止)。

単位: ha

	国有林野	官行造林地
箕面市	590	
高槻市	149	
阪南市	187	
岬町	113	
千早赤阪村		87
合計	1,039	87

大阪府における市町村別国有林野等所在面積

3. 主な事業内容

- (1) 素材生産事業
- (2) 森林整備事業
- (3) 「国民の森林」に向けた取組

(1) 製品生産事業

- 林産物の持続的・計画的な供給は、国有林野事業の使命の一つ。
- 平成20年度は、実績なし。
- 平成21年度は、箕面国有林(箕面市)において、製品生産事業を実施予定。「エキスポ記念の森」展望台周辺において、約2haを皆伐、430立米のスギ・ヒノキ丸太を生産、木材市場で委託販売を行う予定。皆伐後は、箕面森林環境保全ふれあいセンターによる「オオクワガタの森づくり」事業対象地として、児童や市民の参加により広葉樹苗木の植栽を行う予定。



(2) 森林整備事業

- 京都議定書における森林吸収量確保のため、**間伐の推進**が喫緊の課題。
- 松枯れ等の**病虫害**も拡大傾向。
- 平成20年度には、**保育間伐**3ha、**新植**0.1ha等を実施。また、病虫害対策として、**松枯れ**で枯死したアカマツ約500本を伐倒処理。
- 平成21年度には、**保育間伐**5ha等を実施予定。**松枯れ**対策も被害状況を踏まえて実施予定。



(3) 「国民の森林」に向けた取組

- 国有林を「国民の森林」とするため、国民との幅広い連携が求められている。このため、市民団体等への活動フィールドの提供、森林環境教育の実施、CSR活動への支援などに取り組み。
- 当所では、これまで、「箕面自然休養林部会」との意見交換、「高槻里山ネットワーク」への活動フィールド提供、小中学校における森林教室の開催などに取り組んできた。
- 平成20年度は、「清水谷ビジョン」の策定、勝尾寺園地へのゲート設置、アサヒビール(株)社員の参加によるイベントの開催などに取り組んだ。
- 平成21年度は、「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」の設立、同協議会とアサヒビール(株)とのサポーター協定の締結などに取り組む予定。



4. 最近のトピック

- (1) 「清水谷ビジョン」の策定
- (2) 勝尾寺園地へのゲート設置
- (3) 「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」の
設立
- (4) 同協議会とアサヒビール(株)とのサポーター協定
締結

(1) 「清水谷ビジョン」の策定

- 箕面国有林のうち「清水谷」の取扱については、平成12年の紛争発生以降、地元関係団体との意見交換を実施。平成18年には「**箕面自然休養林部会**」を設置して、意見交換を継続。
- 平成19年に、部会の活動を整理・強化するため、清水谷における森林の**将来目標像を提示**するとともに、**将来目標像を実現するために必要となる活動項目を整理**した「**清水谷ビジョン**」の策定を開始。
- 7回の会合にわたる**部会構成員全員からの意見発表**を踏まえて、本年1月に「**清水谷ビジョン**」を採択。
- ビジョン策定を通じて、関係者間の**相互理解が深化**。



清水谷における植生調査



ビジョン策定に向けた議論

(1)「清水谷ビジョン」の策定

(内容)

- 5つの基本方針
 - 森林における**生物多様性の保全**を目的とすること
 - 部会の各構成団体がビジョンの実現に**貢献**すること
 - 箕面国有林全体の取扱方針策定に向けた**モデル的取組**とすること
 - **現行の国有林の管理経営方針**に従った内容とすること
 - **文化的価値**の発掘をも目指すものとすること
- 将来目標像
 - 豊かな生物相に恵まれた森林
 - 森林に関する学習の場
- 活動項目
 - 生態系の調査、幼木や埋蔵種子の確保、シカ食害対策の実施、森林環境教育の実施、文化的価値の掘り起こし、担い手の確保など

(2) 勝尾寺園地へのゲート設置

- これまで、箕面国有林の勝尾寺園地では、駐車場を24時間開放。
- 以前より、不法投棄が頻発するとともに、夜間に犯罪未遂行為が発生しているとの指摘あり。
- このため、平成20年秋に勝尾寺園地進入路に車両ゲートを設置、同年12月より運用開始。
- 朝夕のゲート開閉については、隣接する勝尾寺に協力を依頼。



勝尾寺園地駐車場における不法投棄



勝尾寺園地入口に設置したゲート

(3)「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」の設立

- 箕面国有林では、平成18年より、「箕面自然休養林部会」において、地元関係者との意見交換を継続。
- 同部会の活動を更に活性化させるため、本年3月に、同部会を国有林野事業における「『レクリエーションの森』管理運営協議会」に移行することを決議。
- 本年4月に、「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」の設立総会を開催。
- あわせて、当所と協議会の間で協定を締結。



設立総会の様子



協議会と森林管理局との間で協定を締結

(4) 同協議会とアサヒビール(株)とのサポーター協定締結

- 「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」では、「レク森」制度に基づき、協議会の活動を継続的に支援する団体(サポーター)を募集。
- アサヒビール(株)では、各地の「レク森」において、協議会の活動を支援。
- 本年6月に、アサヒビール(株)と同協議会が「サポーター協定」を締結。アサヒビール(株)は年間30万円の資金並びに年間10人日の労力の提供を約束。



協定締結式の様子



協議会とアサヒビール(株)が協定締結